

～元気の出るエピソード～



当院OTでは、定期的に『コーヒー療法』を行っております。
 患者様にコーヒー豆を挽いていただき、香りを楽しみながら心地よい刺激（快刺激）を脳に与える療法です。
 昔からコーヒーが好きだった患者様が久々のコーヒーを喜んでくださったり、昔よく喫茶店に行っていたことを思い出されたり、普段あまり会話をされない患者様が「美味しいね。」と積極的に話をされたり、病棟以外の場所に移動できるようになったり、患者様の目的や反応は様々です。
 病棟には大勢の患者様がいらっしゃるのですが、静かな空間でゆっくり過ごすことが難しい状況もありますが、景色の良い4階で心地よい音楽の流れる中、ゆったりとした時間を過ごしていると、働かせていただいている私自身も穏やかな気持ちになり、患者様とゆっくり向き合える事で自然と会話も弾みます。
 今後とも、このような貴重な時間を大切にしていきたいと思っています。

QOL推進部 作業療法士

デイケアわかばでは毎日終わりのミーティングなどで利用者様の一日を振り返り、気持ちよく過ごして頂く為の関わり方などをスタッフ一同確認しております。
 又、利用者様に「来てよかった。また来たい。」と思って頂けるようレクリエーションではゲーム・体操・クイズなど 毎日違う内容を提供できるよう心掛けております。
 皆様の笑顔を引き出した時や、「今日のレク楽しかったよ。」という言葉は私達の励みとなっております。
 最近では、歌唱やミニ菜園など新しい取り組みも行っており、花や野菜の成長を楽しむにすることも増えてきました。
 皆が同じ事をするのではなく、「好き」や「興味」のある事に寄り添っていきたくと考えております。

QOL推進部 デイケア 介護スタッフ

診もり短歌



「老いし母を看もる初老の娘」
 百一の母につきそひ
 受診する娘も白髪まじりと
 ふたりはなまふ

Dr ねぎし

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院 蓮田よつば病院

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい

よつば通信

8月号



発行日 平成30年8月1日



この夏に思うこと
 七月、八月は子供たちには夏休み、社会人にはお盆休みがあります。
 私は先日父が亡くなりましたので特別な想いで新盆を迎えます。
 父は間質性肺炎で余命五年と診断されたから好きなことをして過ごしていました。時に入院することもあったようですが「若い世代にはやることがあるのだから」と子供たちに心配させることなく最期は自宅で穏やかに旅立ちました。
 厚生労働省は在宅での医療・お看取りを推進しています。そんな場面では「苦しまない方もたくさんいらっしゃいます。そういった方も、そのための援助をさせていただきます。」
 大切なご家族様ですから「いつまでも元気で長生きしてもらいたい」という思いは十分受け止めさせて頂きます。それだけでも最期は「穏やかに」と願わずにいられます。
 暑い日が続いていますので皆様気を付けてお過ごしください。
 看護部 看護師長 渡部 千恵子



外来案内

診療科目	月	火	水	木	金	土
午前 認知症外来	鈴木	安西	安西	鈴木	鈴木 or 安西	休診
	根岸					
一般内科						
午後(新患のみ)	休診	鈴木	休診	安西	休診	休診

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～

お電話での予約が必要になります
 患者様治療のために
 ・紹介状（診療情報提供書）
 ・お薬手帳の持参をお願いしています
 ご協力をお願いいたします
 予約時間の変更等につきましては、午前中診療のため、13時以降に外来にお電話下さい
 ○休診日
 土曜・日曜・祝日は休診になります

よつばの美味しいご飯



献立

- ・七夕そうめん
- ・星形コロック
- ・ほうれん草サラダ
- ・七夕ゼリー

エネルギー：567kcal
 たん白質：16.0g
 脂質：6.3g
 塩分：2.8g
 ※行事食の栄養価は若干高めになっております
 ※写真は職員食です

今月は七夕ということで、当院でも行事食を提供させていただきました。
 天の川をイメージしたそうめんの上に、星型のパイナップル、そしてオクラを散りばめました。副菜にも星型のコロックと七夕をデザインしたゼリーを提供させていただき、トレーの上は星づくし。星を見つけることで、患者様にも刺激になればと考えております。

管理栄養士 水野俊

蓮田よつば病院 当院は認知症専門の病院です
 〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
 電話:048-765-7777

医療法人社団 心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
 電話：048-796-5157

蓮田よつば病院
デイケアわかば

蓮田市
認知症カフェ
はすかフェ
 電話：048-765-7777 (蓮田よつば病院)



よつば病院情報



～栄養科について～

認知症の方の栄養管理で一番大事なことは、実は「食べてもらうこと」です。健康な方でも加齢とともに食事量が減ってしまいます。

認知症の方、特に摂食に関わる機能が衰えてしまった方は、更に食べる事が難しくなってしまいます。食べやすいようにと細かく刻んでも、嚥下が悪ければ誤嚥のリスクもありますし、嚥下の為にとろみのあんをかけてしまうと味が薄まり不味くなってしまいますし、見た目も悪くなってしまいます。その為、当院栄養科では「どうすればより安全でより美味しく食べられるのか」を突き詰め、介護食製品の研究・開発を行っているメーカーの協力のもとに当院の患者様にとって適切と考える「ソフト食」の研究・調理を続けております。

ソフト食というのは今までの「刻み食」に代わる、より安全で美味しい食事の形態です。その調理方法も、圧力鍋で食材を柔らかく調理する方法や、やわらか食と呼ばれるものを用いて調理する方法等幾つかございますが、当院では普通に調理したものを加工して柔らかく仕上げる方法を用いております。

今までの刻み食では食品が口の中で散らばってしまう為に誤嚥のリスクがありましたが、当院のソフト食は凝集性を持っておりまして、食品が散らばりにくく誤嚥のリスクも少なくなっております。また、形を作ることができますので見た目も楽しむことができます。

食品を柔らかく加工するためには加水が必要不可欠となりますが、それによって味が薄くなり、なおかつ量も増えてしまうというデメリットがありますので、当院ではできる限り加水を少なくし、安全と美味さの両立を心がけ献立ごとに調整をしております。

お粥の調理についても、粘りを出さぬよう、煮込まないように慎重に調理を行い、より安全なお粥を提供させていただいております。また、米麴の酵素を用いてでんぷんのべたつきを抑える方法についても研究を重ね、今まで危険と言われていたミキサー粥を安全に召し上がっていただくための工夫も行っております。

窒息リスクのあるパンについても、ソフト食の技術を応用し、美味しく安全に食べて頂ける工夫を行っております。

当院の食事について気になることがありましたら、遠慮なく管理栄養士までお声掛けください。

また、外来の患者様でも必要に応じ家庭でも実践できるソフト食の加工方法などの栄養食事指導が行えます。興味の有る方は医師または管理栄養士までご相談ください。



加工例：豚肉の味噌焼き（左：普通食・右：ソフト食）

蓮田よつば病院の 認知症ケア専門士

平成30年度 第3回「接遇マナーを常に意識する」

私達は患者様と接する時には、必ず「目を見て笑顔から始まる挨拶」を心掛けております。患者様も挨拶をすると、条件反射のように、歩いている方、座っている方も返す言葉は様々でも、挨拶を返してもらえると誰もが嬉しいものだと思います。

病棟には、認知症「アルツハイマー型、レビー小体型、前頭側頭型、脳血管性等」の方が入院され、フロアで穏やかに過ごされています。その中で、特に夕方から夜にかけて段々体が疲れてくるのか、BPSD(行動心理症状)が出現する方がおり「家に帰りたい」「腹がへったから何かちょうだい」また「アー、アー」声を出される方がいます。フロア見守り担当になると、特に注視の気配り体制で、耳はダンボの様になっています。お声がかかると直ぐ飛んでいき、「どうなさいましたか？」と同じ目線低い姿勢でお聞きします。すると、直ぐ、自分の訴えを言い始め…できる要求には直ぐ誠意をもって応えられるように配慮し、また手を握りながら話をお聴きするだけで、ここはどこなのか、何時なのか、朝なのか昼なのか、どうして欲しいのか等いろいろ聴いている内に気分が紛れる方もいます。

本日受け持ち担当の職員が、手が空くと交代して聴いてもくれます。聴いていると、トイレの訴えの事が多く、うまく伝えられずにいる事が察知でき、納得の対応ができると、穏やかに過ごすことができます。患者様のBPSD(行動心理症状)は、患者様を不安にさせない私達の優しい、丁寧な関わりにかかっているのです。また、音への配慮(テレビの音、職員の私語、大声で話さない)室温・湿度の調整、時計の位置の調整(見当識)等居心地の良い空間を作ることにあります。(音は騒音計で毎日一日3回計測しています)私達自身が原因にならないことです。

そして、私達はその時々言葉使いや、対応の姿勢をととても大切にしています。最近、病棟学習会で改めて「節度あるマナーで介護をスムーズに」を学んだ所ですが、患者さんに喜ばれる・好かれるコミュニケーションスキルとは人間の心理・要求 自我の欲求=自己重要感を満たされたい(自分達の心に置き換えて考えてみる) ☆人は誰よりも大事にして欲しい。受け入れて欲しい。☆尊敬されたい、認めて欲しい、ほめられたい。と思っているので、認知症患者様の心はより敏感なため、そっと寄り添うこと、関わりを私の方針とし、敏感な心の患者様がより安心できるチームケアを継続していきたいと思っております。

岡田 佐知子(認知症ケア専門士/介護福祉士)

患者さま作品・活動 写真集



ホラテアさんによる盆踊り
と三味線の演奏会



今月の予定

今年度のはすカフェは毎月第1土曜日蓮田よつば病院にて開催致します。

- 誕生会 各病棟
3階 随時おこないます
2階 随時おこないます
- 理美容 各病棟
第1・4木曜日
- 調理クラブ
第3または第4月曜日
- お化粧教室 4階フロア
第2木曜日
10:30~11:20